

第1回 区民文化センターについて考えるアイデアミーティングの記録

平成 29 年 8 月 6 日（日）午後 1 時～5 時 都筑区役所 6 階大会議室

参加者数：53 名

◆プログラム

1. 区役所からの情報提供（別紙 1 参照）

- ・新たな文化施設の実現に向けた進捗状況
- ・今回のアイデアミーティングの位置付けなど
- ・区民文化センター基本構想のスケジュール
- ・土地全体の活用と今後のスケジュール
- ・区民文化センターの「標準的な機能」

2. 「なぜ区民文化センターをつくるのか」（別紙 2 参照）

3. グループワーク①

- ・テーマ 1. 未来に向けてどんなまち〈都筑区〉にしていきたいか
- ・テーマ 2. （区民文化センターに）自分はどうかかわれるか
 - グループ A①②：舞台芸術系（ホール・リハーサル室など）
 - グループ B：美術創作系（ギャラリーなど）
 - グループ C①②③：文化事業の企画・実施

休憩

4. グループワーク②

- ・進行役（複数名）以外の方が別のグループ（C⇔A、C⇔B）に移動し意見交換

5. 発表

6. 本日のまとめ

◆区長挨拶

皆様こんにちは。都筑区長の畑澤でございます。本日はご多用の中、都筑区の区民文化センターを考えるアイデアミーティングに参加をいただきましてありがとうございます。都筑区は、ご存じのとおり区民の皆様の文化、芸術活動が非常に盛んなところでございます。日頃のご活動に加えて発表する場ということで、区民文化祭もあり、星空のコンサートもありということで、出演される方のみならず、その場を設定してくださっている方々も区民の皆様でございます。それから各地域にあります伝統的な文化芸能に携わっている方もおられ、この都筑区は様々なジャンルの文化芸術に触れあい、直接楽しめる、そのような環境にあると思います。この素晴らしい環境をつくっていただいているのも本日より皆様をはじめ、区民の皆様のおかげということで心より感謝を申し上げます。そして今回、いよいよ都筑区区民文化センター基本構想の検討が始まりました。区民の皆様のお身近な文化の拠点ということで、都筑区らしさを大切にしながら施設をつくっていきたくと思っております。基本構想検討委員会の委員の皆様をはじめ、今日ご出席の多くの皆様のご意見を聞きながら進めていきたくと思っております。本日は大きくテーマを二つに分けて進めますが、皆様の豊富なご経験、ご見識に基づきまして、幅広く意見交換をしていただければ幸いに存じます。17時までという長い時間になりますけれども、都筑区らしい貴重なご意見、アイデアをたくさんいただけますよう期待いたします。

◆区役所からの情報提供に対する質疑応答

質問：第1回の基本構想検討委員会の傍聴をしました。全体のイメージがまだよく分からないのですが、全体として何階の建物を構想されているのでしょうか。また、今日これから話し合う文化施設というのはその中の一部の話なのか、全体の話なのか。都筑区に住んで25年になります。都筑区における図書館の問題を考えております。

答え：まだハード的な仕様は決まっていません。今後、民間事業者に提案をしていただき、選考して決めていく方法で進めていきますので、何階というのは現在申し上げることができない状況です。

質問：では、何階の一部ということではなくて、建物全体が区民文化センターということですか。

答え：全体ではないです。全体の土地は1.2haありまして、床面積でいうとその中の約3,000㎡部分が区民文化センターということで考えています。どういう建物になるかは民間事業者の提案によります。ですので、複合施設になるのかも現在は決まっていない状況です。

意見：質問者がどんな方なのか、名前や活動内容を聞きたいので可能であればそうしてください。

質問：都筑図書館ファンクラブの者です。本日の説明の今後のスケジュールのところ、平成30年度に事業者の公募があり、平成31年度に施設の設計整備とあったと思います。数日前に開催されたサウンディングの説明会では、平成30年度の最後あたりで設計整備が始まると聞きました。本日の説明と年度が1年違っています。

答え：平成30年度に事業者が選定できれば、事業者が設計、施工を行ってまいりますので、事業者が選定されて市との契約が整い次第、設計に着手できると思っております。サウンディングのときの資料が合っております。

質問：近くに住んでいる者です。町内会の方から参加しました。この会の「立ち位置」がよく分かりません。初参加の人もおられるので、もう一度説明してください。

答え：今回、都筑区で検討しているのは、あくまでも区民文化センターについてです。区民文化センタ

一の標準的な機能というものは、ホールや練習室などが備わって概ね 3,000 m²の建物になります。今回、この約 3,000 m²の区民文化センターをどうするかというアイデアミーティングをしたいということで、お声掛けをさせていただきました。

◆グループワーク



★自己紹介カードを用いて、自己紹介。お名前と活動されていることを各自 1 分間で。



★グループごとに、アイデアをふせんや模造紙に書き出しながら、意見交換を行いました。

◆グループ発表

Aグループ①

舞台関係のAグループです。私は都筑区民文化祭の舞台関係をしています。夢スタジオの運営委員をしています。都筑区民文化祭実行委員をしております。文化祭は今年 21 回目を迎えました。参加が5回から17年間、クラシック専門に担当させてもらっています。

前半と後半に分かれてディカッションをしました。舞台の関係者が多いということで舞台に関する議論になりました。一つ基本的なこととして、1,500 席くらいのホールで、ピアノはスタンウェイ、さらに舞台の後方が開いて外が見えるような、オープンエアのステージにしてほしいとありました。搬入口に十分なスペースをとって、4トン車4台くらい入れるようにしてもらわないと困ると言っていました。リハーサル室なのですが、基本的には舞台と同じだけのスペースがほしい。そこで簡単な発表会などもできるといいのではないかという意見が出ていました。

外観について、どんな建物がどんな規模でできるか分からないのですが、都筑区のランドマークとなるようなものを建ててほしい。今、都筑区のランドマークが都筑のまもる君になっています。一つの案として、建物の周りを森で囲んでその中に金属質な建物が建っていて、中の案内図のようなものが、外に向かってあって、区民の方がその場所の写真をその図の中に貼っていったらどうかという意見がありました。参考にしてほしいのものとして、リコー中央研究所の地下のオープン施設、図研の円形のホールなど出ました。他の意見で、フードコートがほしいとか、スポーツができる広場がほしいとかいろいろあったのですが、基本的には老若男女が常に集まっているような、何も催し物がないときには人が来ないというのではなくて、やっていない時も人が集まってくるようなそういう場所にしてほしい。そのためにはオープンスペースが大事で、某施設のような全部がオープンスペースというのではなく、ちゃんと考えられた、人が集まるオープンスペースをつくるべきだろうと、そのためには、総合庁舎についてもそうなのですが、規制とか禁止事項が多くて、せっかくいい場所であっても生かされていないという意見がありました。できれば運営する団体というのは区民の視点に立った、できる限り自由をという運営側の体制が必要という話になりました。以上です。



会場からご意見はありませんでした。

その他ふせんに書かれた意見

- ・個人でもグループでもいられる練習室、活動スペース
- ・地下（舞台下）に会議室のような控え室
- ・地下にリハーサル室
- ・奈落がほしい
- ・客席はフラットではない方がよい
- ・寄席ができる小規模な演芸場を
- ・練習場の壁は鏡
- ・あらゆる演出が可能な設備
- ・建物にはお金をかけず設備にかけてほしい
- ・美術バトン3本以上ほしい
- ・楽屋とホワイエ動線
- ・搬入したらそのまま舞台と直結
- ・屋上にプラネタリウム兼用のドーム型ホール
- ・屋根つき野外ステージ
- ・敷地内に点在するパオ型練習ルーム
- ・緑道の図面を壁面に貼る
- ・コミュニティ図書館をホールに併設
- ・複合施設なら図書館機能がほしい
- ・文化活動を有機的につなぎ活性化するための文化事業団をつくってほしい



Aグループ②

私は自治体の文化ホールに勤めておりまして、その視点から意見を出しました。やはり舞台芸術としては、本来であれば、みなとみらいホールが南の拠点であれば、北部にもそうしたホールが必要だろうということで、大きなホールが必要という意見が当然ありました。特に都筑区は子どもたちが多く、子どもたちのダンスやミュージカルをやっております。それを広く観ていただくような場所が今横浜にはないのです。その意味で今からつくるのであれば、大きなホールがほしいという意見がありました。ただ300席というキャパが決まっているということです。たくさん出演者が出ることもあると思うのですが、出演者が300席のホールですと、裏方のトイレの数とか、出演者のバックヤードの充実、また女性客が多いので、表周りは女性トイレを多くしてほしいという意見が結構ありました。300席のキャパをできるだけ可動式のものにして、フラットでイベントもできれば、客席の人数によってせり上がってくるようにして、すると演劇だとかダンスとかいろいろなユースに使えるのかなということで、がちつと組んだようなよくある音楽ホールではなくて、バラエティに富んだイベントができるような、多様な文化芸術に触れることができるようなホールにしてほしいという意見がありました。ロビーとステージの動線とか迷路になっていて、初めての利用者が迷ってしまうことが結構あります。分かりやすいロビーからの動線も考えてほしいという意見ができました。野外イベントができるオープンスペースの活用というのは我々のところでも出ていました。特に文化芸術に関連した本などがある図書スペースがあるオープンスペース、オープンスペースの中にギャラリー・アートスペースがつけられていると文化芸術の

香りがする施設になるのかなという意見も出ていました。搬入口とかトラックが停められなくてというのがどこのホールでもあるのですけれど、広い搬入スペース、10トン車が停まれるようにというのもありましたが、さすがに300席では無理ですが、大きなトラックが停められるスペース、そして荷下ろしをするスペースを一緒に考えないと、停められるけれど置いておく場所がないということにならないよという意見も出ております。できるかどうか分かりませんが、300席規模のホールが階層的に二つある、舞台面と同じだけのリハーサルスペースと、公演スペースの両方あると、練習のために使う方と公演に使う方が同時にできるので、稼働率はかなり上がるのではないかと。閉館時間がたいてい10時とかになっているのですが、お客さんが出た後に片づけをする時間が結構あるのですけれど、そこを開館時間が制限されると、平日など9時に催し物が終わって1時間では出なくてはいけない。これだとやれるものが限られてしまう。土日は混んでいるけれど平日は空いているという恐れがあるので、利用時間と搬出入の時間を分けて考えられると平日の利用が結構上がるのかなという意見も出ていました。子どもが多く、子どもたちの学校の生徒全員が入れるスペースということで、当初は300席ではなくて大きなホールが必要という話でした。今そのような場所がないので、中学校の吹奏楽部とか公演をしても親の方々に見てもらう機会が持てないというのは非常にまずいと思うし、都筑区が後からできるホールということもあるので、やはり北の顔になるようなそういう設計仕様にしてほしいという話でした。

私たちは300席ありきで話し合いをしたわけではなく、まずは自分たち区民がどういうものがほしいかということで、舞台の側から皆さん見ていただくと、やっぱり大きなホールがほしいと、本物が呼べる舞台がほしい。本物が呼べるイコール子どもたちが学校単位で足を運んで、子どもたちに芸術を見てもらって触れさせる機会がほしいということで、まず最初に1,000人、1,200人規模のホールがほしいということを前段に話し合いをさせていただきました。今合唱コンクールを隣の宮前市民館に行くとか、都筑はみなとみらいまで遠いですから、近隣の市の施設でやっているというのが都筑区の中学校の現状なので、ぜひ北部地域に学校単位で入れるホールがひとつあれば、オーケストラも本物が呼べるサイズということで、サイズなども貼ってありますのであとでご検討いただけたらと思います。

繰り返しですが、子どものまち都筑区ということで、今までの文化センターの流れで300席ということではなくて、今までにない文化センターができればということでみんなで話しました。



会場からの意見等

意見：こちらのグループで盛んに出された 300 席というのは、私たちは頭になかったのですが、それはかなり確実なことなのですか。

意見：こちらでも出ました。

意見：ここにチラシ（都筑区区民文化センターニュース第 1 号）もあります。第 1 回目の検討では、300 席を前提。3,000 m²を前提とはっきり書いてあります。

答え：大きなフレームとして、現在はそれを前提としています。

意見：なぜ 300 席なのかという説明が最初にあると考えられるのですが、他に 300 席だからというのでは。

答え：300 席というのは決まっているわけではありませんが、標準的な機能としては 300 席程度の区民文化センターが多いということと、トータルは 3,000 m²程度なので、そこにいろいろな機能を入れていこうとするとホールとして取れるのは 300 席程度というところから、標準例として提示しています。それをどういう形にしていくのかはまだ決まっていませんので、これから議論して詰めていくということになります。

意見：3,000 m²は変えられないのですか。

答え：3,000 m²程度の活用であるということはほぼその方向で進めていきたいと思っております。

意見：あんなに広い土地があっても 3,000 m²ですか。

意見：階層の問題もあると思う。何階にするのか。それによって変わるかもしれないし。前提条件によってやれることも違う。

答え：それもこの基本構想検討委員会で、基本構想を決めたものを条件に事業者に提案をもらうという枠組みになっているので、むしろこちらが前提で持ち込まなければいけないというのが今の状況です。そのようなご意見が多数あったということも委員会の方に情報提供しますので、最終的にどのような形があり得るのかは議論の素材としてご提供させていただきます。そこまでしか言いようがありません。

その他ふせんに書かれた意見

- ・舞台総合芸術ができる 最低 800 人～1,000 人入るホール
- ・劇団四季が呼べる
- ・大ホールと小ホールの二つがほしい
- ・小ホールならば天井高がほしい
- ・練習室は夜間利用ができて、見学が自由に行ける気楽な会場
- ・演奏者と観客が一緒に楽しめる交流拠点に
- ・会場探しが大変なので小ホールも数がほしい
- ・客席のバリアフリー



Bグループ

私たちBグループはギャラリーについて議論いたしました。Bグループは、都筑区民文化祭の展示部門の実行委員が多かったということもありまして、関心ごとがギャラリーのしつらえで、タイトルといたしまして、「事務局含め区民が手作りで企画運営している『都筑区民文化祭』の活動経験を通して見えてきたギャラリー設備への要望」としました。

ギャラリーですが、私たちは大きな空間にできるというのが要望です。230㎡から240㎡ぐらいの全部間仕切りを取ればそれぐらい大きなスペースをとりたいと思っています。毎年1月下旬から2月初旬に向けて約2週間都筑区民文化祭の展示を総合庁舎1階のホールでやっているのですが、それは通路という感じでもありまして、いろいろな設備、パーティションをつくれなとか、高さはいくらまでとかでかなり制約が大きくて、老若男女、障害者の方がなかなか一緒に展示ができない、規制が多すぎるというところから、今度の区民文化センターに期待をしています。その大きな空間を多目的に区切れるように、ふたつもしくは三つぐらいに区切れるような可動式のできれば電動のパーティションがほしいと思っています。そうすることによって、たくさんの点数を飾り付けたいという風に考えています。また、書道もそうですし、パッチワークとか大きな作品を飾りたいときは、今現在ではお断りをしています。大きな作品をつくっているグループは、出したくても出せないということがありますので、できれば高い天井にさせていただいて天井からつるせるようなしつらえにしてもらいたいと思います。展示部会の出展者もかなり高齢化しておりまして、大きな展示物のために脚立で上るのは危険になっています。電動の物が望ましいと思います。吊ったり架けたり以外にも展示物を置いて見せるということも多数ありますので、椅子とか机も40台は必要です。今はずっと立ってみているのですが、ちょっと腰掛けて観たいという人も出てきていますので、背もたれのないような椅子が用意できたらと思います。照明が今のところはとても天候に左右されるため大雪や雨の日は午後3時くらいで真っ暗になります。せっかくの作品展示も綺麗に見えない、せっかく1年かけて作られたものに申し訳ないというのが現状ですので、やはり照明については作品がよく見えるような、動かせるような照明、スポットライトを当てられるような照明があればいいと思っています。また、今、制約が厳しくて、作品を持ってきた際の箱などは全部いったん持って帰らなければなりません。電車で来られる方など大変ですので、備品などを収納できるある程度のスペースの部屋がほしいと思っています。また飲食ができるようなちょっとした控え室もあると助かります。大きな展示を飾りたいと思っていますので広い搬入口と地下駐車場からギャラリーの方につながるような動線確保が必要になってくると思っています。

今は、どんなことをやっているというのを紙で貼っているのですが、よくあるような外に向かって電光掲示板で、外を歩いている方に パソコンから収録したもので、今こんなイベントをやっていますということがお知らせできたらと思います。ホールにとってもいいのと、せっかく前を通ったのに知らなかったというふうにならないようにと思います。寒い季節は大雪が一回は来るので、できれば10月～11月に文化祭を開催したいなどいろいろ議論しました。そこで、プロでも使用できる設備が必要だということになりました。細かいことがいろいろ出ましたけれど、それを通して 文化を醸成して行って、区民の皆さん方でいろいろな交わりもできて、そうすると楽しく暮らせますし、しいていけばここにもっと住みたいというまちづくりにもつながっていくのではないかと考えております。

会場からご意見はありませんでした。

その他ふせんに書かれた意見

- ・ 都筑区民文化センターを創造都市の拠点に
- ・ 歴史博物館との連携・センター北駅～歴史博物館～遺跡公園～区民文化センターの野外展示
- ・ 自然豊かで、安全で楽しく歩けるまち
- ・ 防犯につながる明るい街並み
- ・ 年代を超えて交流・活動ができるまち
- ・ 年代、世代を超えて情報や知恵を共有し、学びあえる場所づくり
- ・ 定期的に行われるワークショップのプログラムづくり・幅広い年代が楽しめるカルチャーセンター
- ・ 電気容量を確保してほしい



Cグループ①

NPO 法人の代表をしています。いろいろな方がおられ、最初はこのテーマ通りに全然行かなくて、いろいろ考えている間になんとなく文化施設のソフト面とハード面という風に分けて考えました。最終的にはどんなまちにしたらいいかということも話し合ってきました。

ハード面としては、皆さんも言っていたように、まちの中での大事なシンボルになるので、その施設だけではなくてやはり歴史博物館とか、みなきたウォークに通じるような一体感を持ったまちにしたらどうか、その中でここを文化ゾーンと名づけて、文化が行き交う、その真ん中に位置していたらいいのではないかという話が出ました。いろいろな方がいらっしゃったので、もちろん 1,500 人が入れるホールがあったらいいという意見もありましたし、図書館がこの場所にほしいという意見もたくさんありました。

ソフト面では区民が運営できるようなものをつくって、その人たちが企画なども出していけるようなそんなことができたらいいなという話が出ました。祭りのよさもここにいっぱい入って、毎年そういう大きなイベントができるようになればいなという話が出ました。FMの話が出たのですが、FMつづきを開局するまで考えていなくて、FM横浜のサテライトとかがいいという話も出ました。あと音楽学校の生徒さんたちが、音響などを担ってくれるといいのではないかという案も出ました。

私たちが話し合って、今までの発表には出てこなかったのは、レジデンスステイの場所がつかれるとか、来た人が合宿をして練習ができるとか、何かしら簡易の宿泊施設ができたら楽しいね、夜通し稽古をして、その後泊まってみんなで話して、次の日公演というような話です。横にお風呂もありますしできるのではないかと、そういう宿泊施設があったら、各国からもやってきて、ここで文化をいろいろ発信してくれるのではないかという話が出ました。同じように広場の話も出ました。いろいろな団体や、美術など芸術文化、教育をやる中で、真ん中に広場になるものがあれば、自然とそういう人たちが交流できるようになるので、オープンスペースは大事なのではないかという意見が出ました。星空のコンサートとか楽しみにしていると思うのですが、雨が降れば出来ないの、オープンスペースでありながら屋根があるというアトリウム的なものができるといいと思いました。最後にどんな人たちに向けてというところでは、あらゆる人たちがあらゆる場所から集まって来て、学びが生まれるということ、あらゆる学びが生まれる場所というものになるのではないかということでもとまりました。



会場からご意見はありませんでした。

その他ふせんに書かれた意見

- ・多様なコンテンツを持つまち
- ・区民が主体的に参画できるまち
- ・若者が集えるまち
- ・文化を推進してきた人のところ、気持ちを伝えていく
- ・区民文化センターを中心に文化ゾーンをつくる
- ・緑道の中心だから、ぜひ地面の部分を残して、緑があるように
- ・世界一流のアーティストが呼べるような大ホール
- ・用がなくてもフラッと来れるオープンカフェ
- ・ファンクラブが企画する拠点
- ・継続的にイベント企画、運営の予算がつくように
- ・トリエンナーレ的なイベントの開催
- ・障害者も参加しやすい施設
- ・まちの中であって自慢できるような素敵な建物（それ自体が文化のような）
- ・商業施設との複合ビルであったりマンションと複合された建物ではない方がよい



Cグループ②

32年前に越してきて、学生時代にプランニングで港北ニュータウンをやっていました。ボランティアを続けて32年です。今日は都市計画専攻の学生さんもいます。

まずどんなまちにということで、この都筑区って住みたいまちナンバーワンで、これからもそうであってほしい、それはそれで続けて行きたいし、かつ結構意識、民度も高い。その中でいつの間にか図書館が貧相だという話もありました。ではその民度をどう使っていくのだろうということで、あくまでも文化センターですから、図書館よりもいろいろな触れ合いとか、ライブラリーとかアカデミックという話もしていったのですが、その中で文化センターをどうするかという話になって、そこに向けて集中しましょうということで議論しました。いくつか簡単に報告します。まず都筑区らしい文化センターとは何だろうということです。やはりこのまちの顔ということ言うとグリーンベルトのまちということで、できればエントランスを含めて小川が流れている。しかも緑に太陽光が入り、観葉植物で植栽できますので、小川に沿ってグリーンベルトを歩いていくと奥にホールがある。結構クオリティが高いが大きなホールではない。我々がやるコンサートであれば150人くらいがやりやすいのかなと思いました。そのホールも音楽だけではなくて、例えば床が汚れてもいいホール、油絵、彫刻などができてもいいのではないかと話しました。いろいろな提案があると思うのですが、そのときに入り口付近が一番注目されるのではと思っています。できればみなきたウォークを通して、地下鉄の駅に向かって何か発表ができるオープンスペースがあってもよい。箱以外のオープンな場でのいろいろな発表、コンサート、それができそうな空間もあってほしい。星空のコンサートのような野外コンサートもできるとよい。運営する人と情報発信こそ命なので、人では事業団をつくってはどうかと、要するに行政や民間に任せるのではなく住民も参加したいろいろな分野の組織があつまればいいと。アイデアとしては、できればFMつづきのようなものをつくってもらったらどうか。その運営はせつかくあるので都市大学に。そこに情報メディア学科があるのでその研究室と一緒にサテライトスタジオをつくって、しかも中央大学付属の中高生もいるので、放送部に来てもらって、ライブ放送の勉強しながら文化を発信していく。区内だけでなく、区外、東京あるいは海外、そういうところへ発信ができることこそ都筑区らしいのではないかなと思ったのがわれわれです。FMつづきを呼びかければ、例えばシューマイの会社とか車のメーカーとかいろいろな企業が注目してくれると思う。そういう企画をしていくのが大事なのかなと思っているグループです。

少年少女合唱団を主宰しております。8年9年続けているのですが、いろいろな意見を聞いて楽しかったです。シンボリックなもの、ホール自体がシンボリックなものになるといいのではないかという話も出てきました。

早稲田大学の建築学科の学生です。緑動の景観をテーマにして卒業論文を書いている、その中で住民協働ということでこの港北ニュータウンを特徴的だということで、こういった住民の方々が意見するような場で、どのような意見があるのかということの本日体感したいなということで参加しました。自身も仲町台の緑道沿いに住んでいますが、研究を進めていく段階で緑道景観の、特に集合住宅をメインにやっているのですが、そういう意味でアドバイスをしてくださる方がおられたら声をかけてください。ありがとうございました。



会場からご意見はありませんでした。

その他ふせんに書かれた意見

- ・芸術的な本が読めるカフェ
- ・本を読みながら音楽が聴ける
- ・用がなくても行く場所がある
- ・子どもが自由に入れるエントランス
- ・子どもが自由に入出できる図工室
(アトリエ)
- ・いろいろな創作活動ができるフリースペース
- ・珈琲やお酒が飲めるコンサートホール
- ・何をしているか見えるオープンホール
- ・美術と音楽がコラボできる場所に
- ・何をやっているか見えるように区切り過ぎない
- ・多世代を呼ぶには多世代が運営側にいる必要がある
- ・一発イベントだけでなく継続した大小のイベントを
- ・いろいろなジャンルの音楽のコラボ企画
「音楽でもっとつながろう！」



Cグループ③

都筑区に来て6年目で、飲料メーカーで社会人2年目をしています。

どんなまちにしたいかということで、世代交流、多世代がバランスよく住めるまち。人と人がつながっていくまちにしたいという話がありました。子どもが多いということで、子どもが住みやすい、子どもを育てやすい、子どもたちがまたこのまちに住みたいと思えるまちにしたいという話が出ました。一番重要なのは、安心・安全面で、地震や最近の天候のこととかありますので、その部分で安心・安全 明るい都筑区にしたいという話がありました。それを踏まえて区民文化センターではこんなことをしたいということを話していきました。

普段、都筑におります。

区民文化センターでどんなことをしたいかと言う話の中心はその中身です。大きな規模のホールがほしい。例えば合唱コンクールとかブラスバンドの発表を学校単位でできる規模のものがほしい。ホールだけでなくカフェも併設している、カフェがあるとつづきらしくていいという意見もありました。われわれのところでは最初から300席規模のホールということで議論しましたので、大きな規模を望むというよりは、この都筑の中でどういう団体がホールを欲しがっているかということから、ダンスなどの団体からすると広い練習場がほしい、音楽だけだとそんなに広い練習場でなくてもいい、という両方がうまく共存できるような練習場ができると嬉しいという話をしました。オープンスペース、あれだけ広い場所なので、オープンスペースの活用というのは、区民文化センターを考える時に一緒に考えてほしいと話しました。普段屋根つきの広場があれば、ふらりと来た人たちもそこで昼食が食べられる。区民文化センターの中ではないかもしれませんが、全体を考える時に、広場の機能をぜひ検討していただきたい。情報発信については、今我々は紙媒体でやっていますが、若い世代はSNSです。われわれの頃は紙媒体を作るにもホームページをつくるにも技術が必要でしたが、今はもうFBはほぼ誰でもやっている。広報の手段もどんどん変わっていく。区民文化ホールの中の広報も、もともと幅の広い発信の仕方ができる新しい時代に期待しました。隣に立派な歴史博物館がありますが、そこが持っているいろいろな機能もうまく活用する。市民は意外とその中身を知らないで、今歴史博物館でやっていることを知り、講堂をうまく使ったりとか、一体となる文化という概念でくれば、そういう勉強も進むではないかと話しました。図書館の話も出ました。図書館については「図書館」というのではなくて、文化センターにふさわしいような情報コーナーであれば、図書館の機能と文化ホールが共存できるような場所にできると嬉しい。プロもアマも両方が使えるような、小規模であっても機能が高機能のもの、例えば、舞台の幅は狭くても奥行きがあるとか、裏の動線もしっかりと作ってもらう。使いやすい小ホールであればきっとプロにとっても、小さな作品の発表のためにはいいのではないかなと思いました。新しい時代の区民ホールの企画集団ができないかということで提案します。指定管理者も自主事業をやりますけれど、例えばアートNPOのような裏方が、区民が主体で企画をしていく。ギャラリーや舞台の裏方というのは、今職業としてはなかなか成立しないということもあるのですが、若い世代には、舞台のことを一生懸命専門学校で勉強している人がいっぱいいることをこの間知りました。若い世代は、他の職業に就いたとしても、もうひとつのジャンルで働くというのが若い人が多いようで、ボランティアではなくて、プロの技術を勉強してきた若い人たちが入ってくれるような企画集団ができると面白いなと勝手に思っています。最後に社会包摂の概念。社会包摂というのはこれからいろいろな世代、障害のあるなし、あるいは国の違い、多様な価値観を認め合ったかたちでやっていかなければいけない。アウトリーチにしても学校にしてあげるのではなく、ここにすれば自然と垣根のない交流ができるようなそういう場所になると素晴らしい。それを区民文化センターが持つ機能として、活動する人たちがそう思

って活動することで、また新しい組み合わせや融合が生まれる、といった幅を持った活動がこれから求められるのかなど。我々は考えてこなかった概念ですが、新しい時代の区民文化センターが、都筑の中にはそれだけ多様な人たちがいますので、垣根のない交流ができる拠点になれば嬉しいと思って議論しました。

星空のコンサートの運営をやっております。普段は夢スタジオのスタッフとして夢スタジオにおります。

その場所で、今皆さんが練習している稼働率というのは、ほぼ95%で、空くひまがないほど市民の方たちが使っています。ですから文化センターができたならそういう方たちの練習場となるよう、ぜひぜひ皆さんに気持ちを汲んでいただいて、そんな文化センターをつくって頂きたいと思っています。



会場からご意見はありませんでした。

その他ふせんに書かれた意見

- ・若い世代の価値観が生かせるまち・誰もが気軽に参加できるように
- ・楽しく伝統・文化・歴史を実感できるまち
- ・自然あふれるまち・みなきたウォークからのつなぎ
- ・専門性の高い人が子どもたちに教える場
- ・アマも地域のプロも活動できる場
- ・ハードルを下げてどんな人でも来れる場
- ・映画は歴史博物館の講堂を利用
- ・区民文化センターに早渕川の博物館を設置
- ・つづき地産地消カフェ



その他意見（自己紹介カードより）

- ・長期的な視点に立った運営を
- ・区民が優先的に利用できることが何より希望ですが、費用がかかりすぎないことも願いです
- ・建設までスピード感を持って進めてほしい
- ・商業施設の中に区民文化センターがあると、周辺の商業地との競合でシャッターフロアになってしまう恐れがある。独立してあるほうがよい。
- ・さまざまな文化に関わる人が、知り合い交流できるような、分断しないオープンな空間の仕掛けを
- ・都筑の郷土がわかる部屋をつくってほしい

◆まとめ



みなさんお疲れ様でした。非常にたくさんのご意見、ご要望も含めて出させていただきました。どのようなことが議論されたのかを簡単にお話させていただきます。

どんなまちにしたいかというのは、皆さんが個別の文化活動をやってきて日頃から感じておられる結果であり、公会堂やいろいろな文化施設を利用する中から生まれた、こういう施設が不足しているのほしい、あるいはこういう設備がほしいというご意見だと思います。

施設の機能とか内容に関するご提案が今回は区民文化センターということもあってたくさん出されましたので、これから整理をしないといけないと率直に感じました。やはり最終的には「都筑らしさ」をどう区民文化センターの中に盛り込んだ施設をつくるかということが大事になると思います。

舞台芸術系のご意見だと大きな施設もほしいという話もありながら、少し小さなホールをつくって、日常の練習機能を充実したものにするのか、大人数が収容できる大きなホールで高度な芸術鑑賞ができる施設を中心にいくのか、そこは両方考え方が出てきたという印象を今日は持ちました。

その一方で設備については、公会堂でも意外と音響の質が悪いというご意見もアンケートなどでも出ていますけれど、やはりホールの音響のよさだとか、ギャラリーでは照明など高機能の設備は最低条件だというご意見が出ていました。

規模の問題もありました。大きな展示スペースをつくって小さく区切っても利用できるという、限られた空間の利用の仕方についての考え方も出されました。それは今後大きな問題の一つだと思います。ホールの規模については、大規模なものをというのも 3,000 m² という基本的な枠組みの中では難しいけれども、リハーサル室の考え方とリンクをさせるような形で、質の高いホールをつくるというのも一つの道かなと思います。これは今後検討委員会の方でも充分議論をしていただく内容となります。

施設全体に対しての問題提起、ご意見では、例えば搬出入の入口をどこにとるか、歩行者側をメイン入口にして、幹線道路のほうは自動車の搬入口という区分けが必要というご意見もありました。カフェ機能の提案も各テーブルで幅広くありましたが、ロビーに併設されるようなものか、一部屋つくるとその分他の機能が削られることとなりますので、いっそのこと商業業務施設の中に併設されるとなれば、その機能の分はそこに預けてもいいのではないかというようなご意見なども出ていました。

全体デザインに関わる話では、3,000 m² の施設の中だけで完結するのではなく、広場とか野外ステージなど、敷地利用のあり方と関連付けた計画もすべきだというご意見も出されましたので、そのあたりをどのように盛り込めるかが課題となります。周辺にある歴史博物館との役割分担、連携をどこまでどういう形で進められるかということも皆さんの発表にあったとおりです。

また、例えば外に電光掲示板で、中でやっていることを流して集客を図るとか、あるいは今日やっているホール情報を外にPRできないかといった提案もありました。施設内でつくるのか、併設された商業業務施設でつくってもらうのかという問題もありますが、いいアイデアです。

いずれにしても外観については、ランドマークになるようなものをつくるべきではないか、また、森の中にいるようなことが実感できるようなつくり方など、この都筑の特性を反映することも非常に大事ではないかというご意見もありました。

そういうハードの問題に対して、ソフトの面では、区民主体の企画運営ができるような団体をつくる、あるいはファンクラブのようなものをつくって、区民あげて取り組めるような運営が非常に大事ではないかということ、利用時間や搬出入の時間のずれを考慮した開館時間の設定も工夫をする必要があるのではないかというご意見がありました。

情報発信のところでは、「FM都筑」のようなものを新たに作ってそのスタジオ第 1 号をここにつくる、あるいは隣接したところにつくる、そして都市大などと連携を進めてみるというご意見がありました。また、図書館機能そのものをここに導入するのは難しいけれども、文化に関わる専門性の高い機能として整備しつつ、情報発信機能を強化していくべきというお話もありました。

今日皆さんから出されたたくさんのアイデアやご意見は、整理をしたうえで皆さんの方にもお戻ししますけれど、委員会の方にも提示をして、議論の素材として密度の高い検討を進めていただきます。ありがとうございました。

話し合った項目	アイデア、意見（発表、ふせん、自己紹介カードから）
都筑区をどんなまちに	<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かで、安全で楽しく歩けるまち ・楽しく伝統・文化・歴史を実感できるまち ・多様なコンテンツを持つまち ・区民が主体的に参画できるまち ・年代を超えて交流・活動ができるまち ・若者が集えるまち ・若い世代の価値観が活かせるまち・誰もが気軽に参加できるように ・多世代がバランスよく住めるまち。人と人とがつながっていくまち ・子どもが住みやすい、子どもを育てやすい、子どもたちがまたこのまちに住みたいと思えるまち ・防犯につながる明るい街並み、安心・安全明るい都筑区
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・文化を推進してきた人のこころ、気持ちを伝えていく ・老若男女が常に集まっているような、催し物がないときには人が来ないというのではなくて、やっていないときも人が集まってくるような場所 ・用がなくても行く場所がある、グループにとっても個人にとっても居場所となるように ・さまざまな文化に関わる人が知り合い交流できるような、分断しないオープンな空間の仕掛けを ・年代、世代を超えて情報や知恵を共有し、学びあえる場所 ・あらゆる人たちがあらゆる場所から集まって来て、あらゆる学びが生まれる場所 ・自然と垣根のない交流ができるようなそういう場所（社会包摂の概念） ・ハードルを下げてどんな人でも来ることができる場 ・障害者も参加しやすい施設 ・専門性の高い人が子どもたちに教える場 ・アマも地域のプロも活動できる場 ・地元の活動を支える場所 ・バラエティに富んだイベントができ、多様な文化芸術に触れることができる ・美術と音楽がコラボできる場所に ・何をやっているか見えるように区切り過ぎない ・演奏者と観客が一緒に楽しめる交流拠点に ・都筑区民文化センターを創造都市の拠点に ・定期的に開催されるワークショップのプログラムづくり・幅広い年代が楽しめるカルチャーセンター ・自然あふれるまち・みなきたウォークからのつながり ・区民文化センターを中心に文化ゾーンをつくる。文化ゾーンと名付けて、文化が行き交う、その真ん中に位置 ・このまちの顔に。ホール自体がシンボルのようなもの

<p>こんな区民文化センターで活動したい（ハード）</p>	<p>①ホール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1,500 席くらいのホール 北部の拠点となるような大きなホールが必要 ・ 学校単位で足を運んで、子どもたちに芸術を見てもらって触れさせる機会を（1,000 人～1,200 人規模のホールを） ・ 合唱コンクールとかブラスバンドの発表を学校単位でできる規模のもの ・ 本物が呼べる舞台、劇団四季が呼べる、世界一流のアーティストが呼べるような大ホール ・ 舞台の後方が開いて外が見えるような、オープンエアーのステージ ・ 奈落がほしい ・ 寄席ができる小規模な演芸場を ・ あらゆる演出が可能な設備 ・ 300 席のキャパをできるだけ可動式のものにして、フラットでイベントできるように。客席の人数によってせり上がってくるようにする。バラエティに富んだイベント、多様な文化芸術に触れることができるように ・ 舞台総合芸術ができる、最低 600～1,000 人入るホール ・ 客席はバリアフリーで ・ 本を読みながら音楽が聴ける ・ 客席はフラットではない方がよい ・ 大ホールと小ホールの二つがほしい ・ 小ホールならば天井高がほしい ・ 会場探しが大変なので小ホールも数がほしい ・ 大きなホールではなくてもクオリティが高い 小規模であっても機能が高機能（150 人規模くらいが使いやすい） ・ 舞台は奥行きを十分とり、バトンの数を多く、袖を広くしてほしい ・ 美術バトンは 3 本以上ほしい ・ 床が汚れてもいいホール、油絵、彫刻などができてもいい ・ 珈琲やお酒が飲めるコンサートホール ・ 何をしているか見えるオープンホール <p>【楽屋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽屋の数は多くしてほしい ・ 地下（舞台下）に会議室のような控え室 ・ 裏方のトイレなど出演者のバックヤードの充実
	<p>②音楽ルーム (リハーサル室)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 舞台と同じだけのスペース（簡単な発表会などもできる） ・ 地下にリハーサル室を（例えば、300 席ホールに対して 300 席のリハーサル室）
	<p>③ギャラリー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全部間仕切りを取れば大きな空間（230～240 m²）にできる。大きな空間を多目的に区切れるように、可動式のできれば電動のパーテ

	<ul style="list-style-type: none"> ・イシヨンがほしい ・100点以上の展示が可能のように。あざみ野アートフォーラムのようなギャラリーが理想 ・老若男女、障害者の方が一緒になって展示できる ・書道やパッチワークなどの大きな作品を天井からつるせるようなしつらえ（高い天井） ・吊ったり架けたり以外にも展示物を置いて見せるということも多数あるので、椅子や机が40台は必要 ・ちょっと腰掛けて観たいという人がいるため、休憩用の背もたれのないような椅子が必要 ・動かせるような照明、スポットライトを当てられるような照明 ・備品などを収納できるある程度のスペースの部屋 ・飲食ができるようなちょっとした控え室 ・プロでも使用できる設備 ・電気容量を確保してほしい
④練習室	<ul style="list-style-type: none"> ・個人でもグループでも使える練習室、活動スペース ・音楽を身近に感じていただけるよう誰でも入れる練習室 ・練習場の壁は鏡 ・練習室は夜間利用ができて、見学が自由にできる気楽な会場 ・ダンスなどの団体からすると広い練習場がほしい、音楽だけだとそんなに広い練習場でなくてもいい、という両方がうまく共存できるような練習場
⑤会議室等 (アトリエ、フリールーム)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自由に出入りできる図工室（アトリエ） ・いろいろな創作活動ができるフリースペース
⑥情報コーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・文化センターにふさわしい情報コーナーがあり、図書館機能と文化ホールが共存できるような場所
⑦エントランス	<ul style="list-style-type: none"> ・エントランスを含めて小川が流れている。小川に沿ってグリーンベルトを歩いていくと奥にホールがある。太陽光が入り観葉植物が植栽できる ・子どもが自由に入れるエントランス ・開放的なエントランス
⑧トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様用の女性トイレを多く設けてほしい
⑨搬出入口	<ul style="list-style-type: none"> ・搬入口に十分なスペース（4トン車4台くらい） ・広い搬入スペース、大きなトラックが止められるスペース、そして荷下ろしをするスペース
⑩空間のつなぎ方 (動線)	<ul style="list-style-type: none"> ・搬入したらそのまま舞台と直結 ・楽屋とホワイエ動線 ・ロビーとステージの動線を迷路にしない（分かりやすいロビーからの動線）

	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場からギャラリーの方につなげるような動線確保 ・舞台裏の動線もしっかりと作って
⑫施設全体（外観）	<ul style="list-style-type: none"> ・都筑区のランドマークとなる このまちの顔 ・建物の周りを森で囲んでその中に金属質な建物が建つ ・中の案内図のようなものが、外に向かってある ・緑道の図面を壁面に貼る ・歴史博物館とか、みなきたウォークに通じるような一体感を ・まちの中にあって自慢できるような素敵な建物（それ自体が文化のような） ・屋上にプラネタリウム兼用のドーム型ホール ・敷地内に点在するパオ型練習ルーム ・商業施設との複合ビルやマンションと複合された建物ではない方がよい
⑫施設全体（オープンスペース）	<ul style="list-style-type: none"> ・何も催しが無いときも人が集まってくるようなオープンスペース ・規制とか禁止事項が少ないこと ・野外イベントができるオープンスペースの活用 ・何か発表ができるオープンスペース ・文化芸術に関連した本があるなど、図書スペースがあるオープンスペース ・ギャラリー・アートスペース ・真ん中に広場になるものがあれば、自然と文化活動に関係している人たちが交流できる ・オープンスペースでありながら屋根があるというアトリウム的なもの、屋根つきの広場、屋根つき野外ステージ ・緑道の中心だから、ぜひ地面の部分を残して、緑があるように
⑫施設全体（カフェ）	<ul style="list-style-type: none"> ・用がなくてもふらっと来ることができるオープンカフェ ・ホールに併設したカフェがあると都筑らしくていい ・都筑地産地消カフェ ・芸術的な本が読めるカフェ
⑫施設全体（ライブラリー）	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ図書館をホールに併設 ・文化センターにふさわしいような情報コーナーであれば、図書館の機能と文化ホールが共存できる
⑫施設全体（その他）	<ul style="list-style-type: none"> ・建物にはお金をかけず設備にかけてほしい ・簡易の宿泊施設（レジデンスステイができる） ・単館施設を望む ・商業施設の中に区民文化センターがあると、周辺との競合でシャッターフロアになってしまう恐れがある。独立してあるほうが良い ・複合施設なら図書館機能がほしい ・1フロアを図書室、学習室としてほしい ・区民文化センターに早渕川の博物館を設置

		<ul style="list-style-type: none"> ・都筑の郷土がわかる部屋をつくってほしい（日本の文化・歴史に子どもが接することができる場所） ・建設までスピード感を持って進めてほしい
こんな区民文化センターで活動したい（ソフト）	a.施設利用（貸館）	<ul style="list-style-type: none"> ・開館時間は、利用時間と搬出入の時間を分けて考えてほしい（その日のうちに搬出入できれば利用しやすくなる） ・区民が優先的に利用できることが何よりの希望、費用がかかりすぎないことも願う
	b.情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・電光掲示板で、外を歩いている方に、催し物のお知らせを ・FM横浜のサテライト ・運営する人と情報発信こそ命。FM都筑、都市大学に情報メディア学科があるのでその研究室と一緒にサテライトスタジオ、中央大学付属の中高生もいるので、放送部に来てもらって、ライブ放送の勉強 ・区外、東京あるいは海外、そういうところへ発信ができることこそ都筑区らしい ・幅の広い発信の仕方（SNSの活用など）
	c.鑑賞事業	<ul style="list-style-type: none"> ・本物に触れる機会を
	e.次世代育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の一流と子どもが接することができる場に
	g.連携機能	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史博物館との連携・センター北駅～歴史博物館～遺跡公園～区民文化センターの野外展示 ・歴史博物館が持っているいろいろな機能もうまく活用する ・映画は歴史博物館の講堂を利用
	j.その他	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的にイベント企画、運営の予算がつくように ・トリエンナーレ的なイベントの開催 ・一発イベントだけでなく継続した大小のイベントを ・いろいろなジャンルの音楽のコラボ企画「音楽でもっとつながろう！」 ・祭りのよさも参考に、毎年、大きなイベントができるように ・都筑の文化 夢スタジオを拡大した事業を継続してほしい
	k.区民主体の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・区民の視点に立った、できる限り自由を尊重する運営側の体制 ・文化活動を有機的につなぎ活性化するための文化事業団をつくってほしい ・住民も参加したいろいろな分野の組織による事業団をつくってはどうか ・区民が主体で企画をしていく区民ホールの企画集団 ・ファンクラブが企画する拠点 ・施設を運営する（NPO等）と協力関係、提言ができるグループ（施設ファンクラブのようなもの）が正式にできることを望む ・市民感覚を生かした区民文化センターに ・長期的な視点に立った運営を

		<ul style="list-style-type: none">・多世代を呼ぶには多世代が運営側にいる必要がある・音楽学校の生徒さんたちが、音響などを担ってくれる・単なるボランティアではなくて、プロの技術を勉強してきた若い人たちが入ってくれるような企画集団
--	--	--

当日の資料を一部修正（著作権を伴う写真等を削除）しています。

13時スタート。
自己紹介カードにご記入
しながらお待ちください。



- お名前、
- 現在の活動内容
- 今日、言いたいこと！ など

区民文化センター について考える アイデアミーティング

8月6日(日)13時～17時
都筑区役所 6階大会議室

本日のプログラム

《13時スタート》

- 1 区役所からの情報提供
- 2 「なぜ区民文化センターをつくるのか」
・・・文化観光局 鬼木主任調査員
- 3 グループワーク①
・・・休憩・・・

《おおよそ15時くらい再スタート》

- 4 グループワーク②
- 5 発表
- 6 本日のまとめ

1 区役所からの情報提供

新たな文化施設の実現に向けた進捗状況

ようやく、
都筑区の文化施設整備に向けた検討が
はじまりました。

検討している文化施設は、
「区民文化センター」です。

検討を進めている場所



新たな文化施設の実現に向けた進捗状況

- この7月から、
『基本構想検討委員会（市の附属機関）』
- ・コンセプトや
・大事にする機能、施設構成など
『基本構想』について11名の委員の皆様
に、ご議論いただいています。

今回のアイデアミーティング

皆さまのアイデアを
「基本構想」の参考にするため、
基本構想検討委員会へ届ける。

構想の段階から、
参加できる機会を。

文化を通じて、
出会い、話す機会を。

↓
都筑区ならではの活用。
区民発意による新たな文化の創造。

区民文化センター基本構想の スケジュール

- **基本構想**は、
29年11月28日第4回委員会で、
まとめていただく予定。
- ※基本構想検討委員会の内容は、
「区文ニュース」等でご確認いただけます。

この土地全体はどうなるの？



土地全体の活用

- 土地全体は、民間事業者からの提案を受けて、**活用内容と事業者を選考した上で、選定します。**
- 「区民文化センターの整備」は、提案を受けるにあたって、市から民間事業者に提示する**前提条件**となります。

※「区民文化センター」を含む土地全体の活用内容を民間事業者から提案を受けることとなります。

土地全体の今後のスケジュール

- 29年度 ①区民文化センターの
基本構想検討
②土地全体の公募要項作成
- 30年度 ①土地全体の事業者公募
②事業者選定
- 30年度～ 設計、工事、竣工

※当日の資料を一部修正しています。

区民文化センターの「標準的な機能」

区民文化センターとは

- * 「**地域に根ざした個性ある文化の創造に寄与する**」ことを目的に設置している文化施設
- * **区民に身近な地域の文化活動拠点として、区民の文化芸術活動やまちづくりに貢献**するもの

本市文化施設の分類

専門文化施設	横浜みなとみらいホール、横浜美術館、横浜能楽堂など
市域文化施設	市民文化ホール（関内ホール）、市民ギャラリー、市民ギャラリーあざみ野など
地域文化拠点	区民文化センター <ul style="list-style-type: none"> ・ 区民が身近に文化芸術を鑑賞、活動の場を提供 ・ 文化芸術活動の普及啓発、アウトリーチ活動、人材育成 等

公会堂と区民文化センター

公会堂 ※都筑公会堂：3,136.11㎡	多目的な集会施設（市民の集会、その他各種行事のために設置） ・ 貸館としての施設提供 【参考】都筑公会堂の講堂は600席、音響反射板有り
区民文化センター ※約3,000㎡	地域の文化振興の拠点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 貸館に加え、鑑賞や創作、体験等の自主企画事業、アウトリーチを実施 ・ 文化芸術の普及・啓発を担う。専門人材が常駐し文化活動への相談にも対応

ホール

コンサートや演劇の上演など

多機能ホール(緑区・みどりアートパーク)



(磯子区・杉田劇場)



音楽系ホール(東区・リリス)



演劇系ホール(東区・テアトルフォンテ)



音楽ルーム(リハーサル室)

小編成の音楽・ダンス等の練習・発表など

音楽ルーム(大スタジオ)(東区・リリス)



リハーサル室(青葉区・フィリアホール)



音楽ルーム(神奈川区・かなっくホール)



リハーサル室 愛称:コスモス(磯子区・杉田劇場)



練習室：3室程度

少人数の音楽練習など

青葉区・フィリアホール 練習室2(アップライトピアノ) 戸塚区・さくらプラザ 練習室2(ドラムセットほか)



鶴見区・サルビアホール 練習室1(アップライトピアノ) 練習室2(ドラムセットほか) 練習室3(ドラムセットほか)



ギャラリー

美術作品の展示など

神奈川区・かなつくホール 鶴見区・サルビアホール



港南区・ひまわりの郷



会議室：2室程度

創作ワークショップ・講座など

磯子区・杉田劇場 会議室A+B



磯区・みどりアートパーク 会議室A+B



情報コーナー

パンフレット・書籍など文化芸術に関する情報提供

磯子区・杉田劇場 青葉区・フィリアホール



旭区・サンハート



文化事業の企画・実施

自主事業、相談・育成、アウトリーチ等の文化活動支援など

旭区・サンハート(駅deライブ)

港南区・ひまわりの郷(鑑賞) 泉区・テアトルフォンテ(いざみ歌舞伎) 磯子区・杉田劇場

都筑区区民文化センター

区民文化センターに備わった「標準的な機能」

↓

皆様の発想と行動で、

都筑区ならではの活用。

区民発意による新たな文化の創造。

皆さまがこれからも「住み続けたい」と
思える都筑区づくりに、

「文化」の力でできること、
共に考えていきましょう！

2「なぜ区民文化センターをつくるのか」

文化観光局文化振興課
施設担当課長(主任調査員) 鬼木 和浩

グループワーク

テーマ①
未来に向けて
どんなまち(都筑区)に
していきたいか

テーマ②
(区民文化センターに)
自分はどうかかわれるか

3 グループワーク①

- A 舞台芸術系
(ホール・リハーサル室など)
- B 美術創作系 (ギャラリーなど)
- C 文化事業の企画・実施

4 グループワーク②

グループの中で、

「自己紹介カード」を用いて、
1分で自己紹介

4 グループワーク②とまとめ 16:00まで

テーマ①

未来に向けて、どんなまち(都筑区)にしていきたいか

テーマ②

(区民文化センターに)
自分はどうかかわれるか

まとめの時間です。
16:00まで

5 発表

6 本日のまとめ

次回の アイデアミーティング

- 9月10日(日)
都筑区役所 1階多目的室

⇒本日お申込みいただけます。

当日の資料を一部修正（著作権を伴う写真等を削除）しています。

区民文化センターについて考える
アイデアミーティング

「なぜ区民文化センターをつくるのか」

日時：平成29年8月6日（日）13時
場所：都筑区役所

文化観光局文化振興課施設担当課長（主任調査員）
鬼木和浩

なぜ都筑区に
区民文化センターを
つくろうとしているのでしょうか？

地域で文化活動を行うことで、
自分たちのまちを手に入れるため

なぜ文化活動が
自分たちのまちを手に入れることに
つながるのでしょうか

横浜市の区民文化センターの構想は
昭和60年（1985年）までさかのぼります

横浜市文化基本構想（1985年・昭和60年）基本理念1
地域に根ざし、自然と調和した個性ある文化をつくる

これからの横浜が21世紀に向けて豊かな市民社会として発展し続けていくためには、今までの都心部に重点をおいた街づくりや文化活動から、地域の個性や文化的風土を大切にした街づくりや文化活動を展開していく必要がある。

地域にこそ新しい文化創造のエネルギーがあり、日々その個性が育っているからである。そしてそれがまた横浜市全体の文化や街づくりに新たな個性を加え、市民のエネルギーを活性化していくことにつながるであろう。

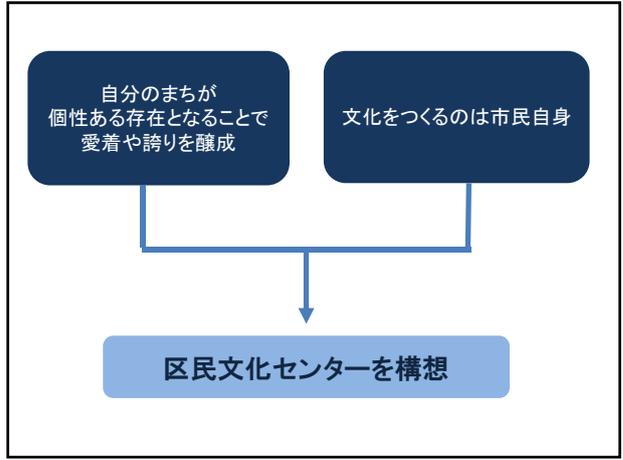
自分のまちが個性ある存在となることで
愛着や誇りを醸成

横浜市文化基本構想 基本理念2
市民の主体性を活かした市民・企業・行政の共生による文化をつくる

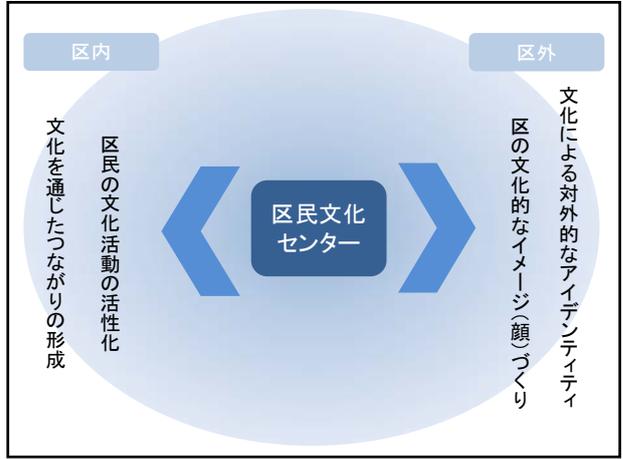
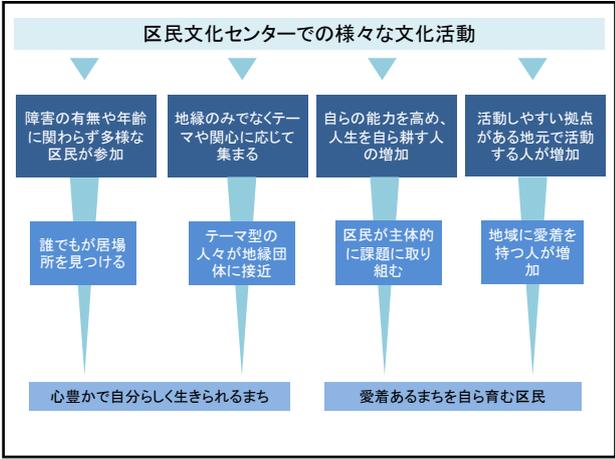
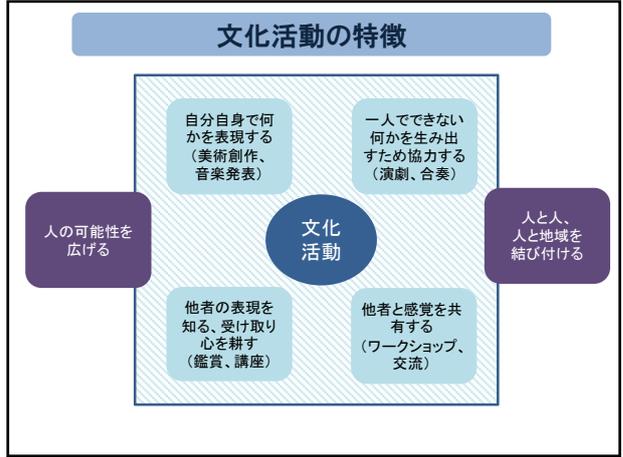
文化とは、もともと人間がつくりあげるすべてであり、その土地に住む人々が生活の中で、幾世代も超えてつちかかってきた伝統でもある。従って、**文化それ自体は、市民一人ひとりの自主性によって営まれるべきものである。**

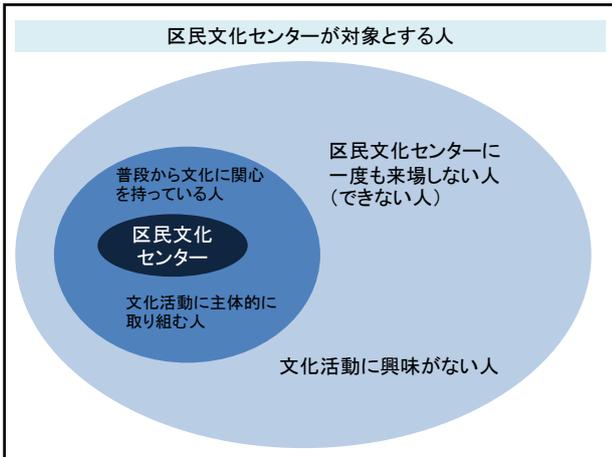
行政は、そうした市民の自由な文化・創造活動についての**問題提起や動機づけ、文化活動の場や機会の提供などの条件整備**、さらには、**文化的な生活環境づくりを最大限に推し進め、支援する必要がある。**

文化をつくるのは市民自身



なぜ文化活動なのか

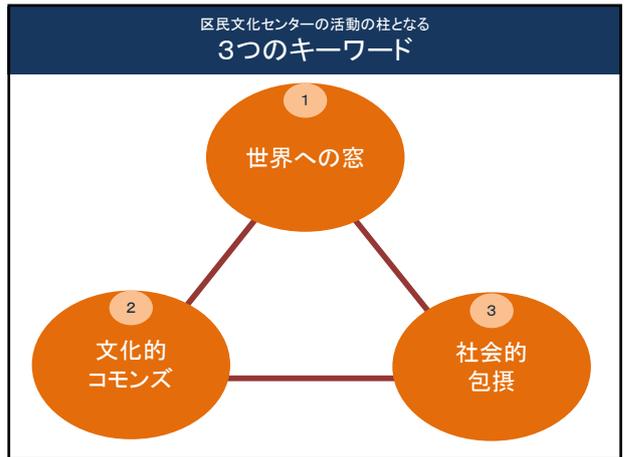
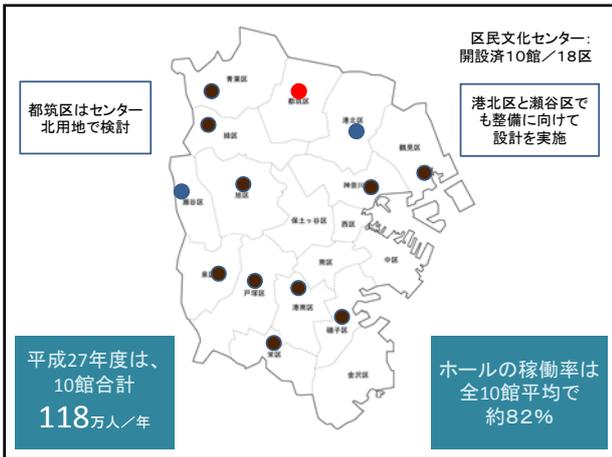




平成2年に第1号を開館して以来、平成25年度までの23年間をかけて
10館を整備

旭H2→青葉H5→泉H5→港南H9→栄H10→
神奈川H16→磯子H17→鶴見H23→戸塚H25→緑H25

主に駅前開発事業を契機に整備



1 世界への窓

鶴見区民文化センター サルビアホール
弦楽四重奏演奏会

栄区民文化センター リリス
ギャラリーでの展示の様子

世界の多様な表現に接することで、
人間精神の無限の可能性に気付く。

1 世界への窓

文化の体験によって、
自分自身の新たな一面を知り、成長する。

鶴見区民文化センター サルビアホール
アート作品のワークショップ

子どものための芸術の学校
戸塚区民文化センター さくらプラザ

磯子区民文化センター 杉田劇場 練習室

1 世界への窓

文化は、世界に開かれた窓である

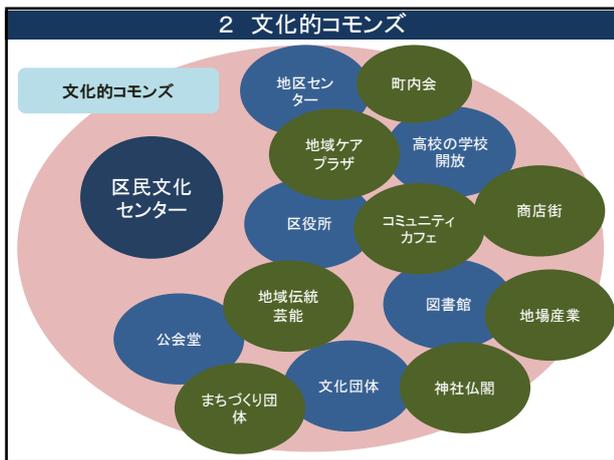
19世紀ドイツの流行歌	縄文時代の土器
30秒ごとにリズムが変わるダンス	卵を使って描かれた絵
古代エジプトが舞台のオペラ	100歳の人が思い出を語る映像
ヴァイオリン1挺での1時間の音楽	AIが見つけた詩

多様な表現や価値観に触れることができる

2 文化的コモンズ

コモンズ

入会地(共有地)
 (例: 森、漁場等)



2 文化的コモンズ

文化的コモンズの特徴

**地縁型コミュニティと
テーマコミュニティとを結ぶ**

**エリアは限定されないし、
成員も限定されない**
 (いつでも開かれ、文化以外の分野も多彩)

放っておくと、弱体化する

2 文化的コモンズ

文化的コモンズ形成の事例

大岡川アートプロジェクト(吉野町市民プラザが主催者に参画)
 野外でのアートイベントを、地元町内会、こども会、アーティストらとともに開催。年間を通じて地域との関係を構築。

2 文化的コモンズ

文化的コモンズ形成の事例

小学校狂言鑑賞教室(久良岐能舞台・磯子区)
 近隣の小学生を招き、能舞台での狂言を鑑賞。独特の言い回しについての解説も。

2 文化的コモンズ

文化的コモンズ形成の事例

本郷特別支援学校へのアウトリーチ(栄区民文化センター リリス)
学校へアーティストが出向いて演奏

3 社会的包摂

社会的包摂
(ソーシャルインクルージョン)

文化活動には、あらゆる人が参加できる

子ども、若者、高齢者、障害者、失業者、外国人等
あらゆる人が文化活動に参加することで、
地域で孤立しない、支え合いにつながる関係をつくる

3 社会的包摂

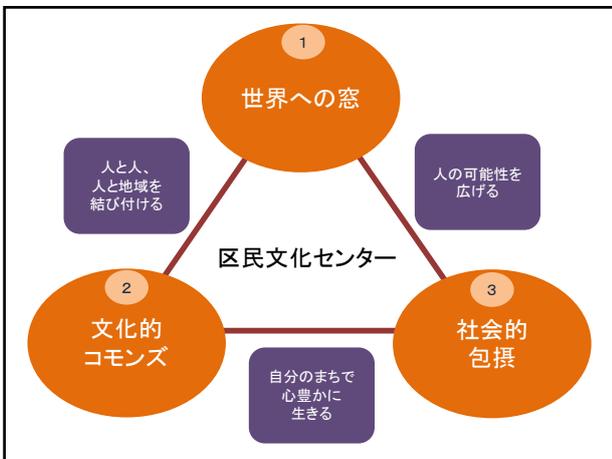
社会的包摂(ソーシャル・インクルージョン)の事例

横浜美術館での「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」の様様
視覚障害者と健常者が一緒に美術作品鑑賞を行う。

3 社会的包摂

社会的包摂(ソーシャル・インクルージョン)の事例

おやしカフェ(神奈川区民文化センター)
公募で集まった素人おやじたちがカフェでパフォーマンスを披露



区民文化センターを中心とした
様々な文化活動

地域に根差した個性ある文化を創造

私の知らない、私らしく生きる私

ここにしかない、私たちの都筑区

なぜ都筑区に
区民文化センターを
つくろうとしているのでしょうか？

地域で文化活動を行うことで、
自分たちのまちを手に入れるため